

# 千田 かわらばん

平成23年度 第2号  
PTA会長 林 大蔵  
PTA編集部

1、子どもを守ろうプロジェクト 2、救命救急講習

## 防犯、交通安全標語シートを貼り付けました。

社団法人全国道路標識・標示業協会の「子どもを守ろうプロジェクト」の一環として、児童が考えた防犯や交通安全の標語を校内や通学路に貼り付ける取り組みが行われました。

6月2日、千田小学校各学年代表の児童6人が、全国道路標識・標示業協会、工事関係者、PTA会長とともに、体育館横の通路に標語シートを貼り付けました。

「子どもを守ろうプロジェクト」のこの取り組みは、広島県内では初めてです。

標語は、昨年度の1年から6年各クラスから2作品、計40作品が選ばれ、今回、貼られたのはそのうちの2枚。残りのシートは、学校周辺の道路や、学校内のロータリーに今後貼り付けられる予定です。



「帰り道 知らない人と 行っちゃダメ」「身を守る いかのおすしを してるかい」  
「自転車で ぼくも安全 運転手」「おうだんほどう しんごうまもって 手をあげて」  
「あいさつは みんなですると 気持ちがいいね」



シートは、縦30センチ、横40センチで、全国道路標識・標示業協会から寄付されました。

通学旗に加え、目にふれる場所に、児童の考えた標語が設置されることで、児童自身の安全に対する意識が高まることが、期待されます。

貼り方を教えるよ。まず、路面をきれいに掃除してね。

貼り付ける場所に接着剤をぬってシートを置くよ。

トンカチ、重いヨ。

トンカチでしっかり打ちつけよう。

しっかり、貼れたよ。

完成！

防犯ブザー  
とどくところに  
つけようね



# 救命救急講習が行われました。

講師 日本赤十字社指導員 宇根 司氏 5月30日 参加者 50名

プール開きが近づきました。保護者によるプール監視が始まります。  
もし万一の時、私達はどのように行動したらいいのでしょうか？  
応急手当について学びました。

まず大切なのは

事故防止です。  
健康管理、事故を起こさない環境づくりを心がけましょう。

事故が起きてしまったら

## 1 周囲の安全確認

## 2 傷病者の全身確認 (大出血があれば止血)

もしもし、大丈夫ですか？

## 3 意識の確認 (肩を叩きながら、耳元で声をかける。)

## 4 助けを呼ぶ

助けてください。  
119番お願いします。

AEDを持ってきてください。

## 5 気道の確保、呼吸の確認

(顔を傷病者に近づけ、胸の動きを見、頬で息を感じ、耳で呼吸音を聞く。)

意識、呼吸はあるが動けない

- ・体位は本人の希望通りに。
- ・しゃべりかけ、しゃべらせる。
- ・励ます。勇気づける。  
(マイアスの言葉がリは、しはい！)
- ・体を温める。

意識はないが、呼吸はある時

- ・横向きに寝かせ、気道を確保する。

意識も呼吸もない時

- ・仰向けに寝かせ、傷病者の頭に手をあて、もう一方の手の指先で傷病者のあごを持ち上げる。

## 6 人工呼吸 胸骨圧迫

- 傷病者の鼻をつまんで、鼻孔をふさぎ、1秒かけて1回息をふきこむ。計2回  
(人工呼吸が難しければ無理せず胸骨圧迫に移る。)
- 傷病者の乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中に手のひらのつけ根を置き、もう一方の手をその上に重ね、垂直に圧迫。0.6秒に1回を30回。
- その後、人工呼吸2回をセットとして繰り返す。

強く、速く  
絶え間なく



## 7 AEDの装着

- 衣服を取り除き、パッドをつける。  
(取り付け位置の皮膚がぬれていたら拭く。)
- AEDの音声ガイダンスに従う。  
(除細動ボタンを押す時は、傷病者に触れない。)



**AED(自動体外式除細動器)**

心臓が細かくふるえ、規則正しく血液を送り出せない状態に電気ショックを与え、正常な拍動に戻す機器  
千田小学校では、体育館入口に設置されています。

救急隊員に引き継ぐまでの応急手当が、傷病者の命や、後遺症の有無につながるのです。

### 参加者の感想

AEDは全ての小学校に設置されているわけではないと聞きました。  
設置されている学校の保護者として、救命の意識を常に持ち続けたいと思います。  
応急手当の流れを具体的に教えていただいたので、いざというときも、何も知識がない時よりは、少しは落ち着いて行動できるのでは、と思いました。